小幡氏が佐藤大使に交渉(豊てるの内部を飾らるものと見られる)

を上寫大原委員長より委成部の經

制力を述べたのも。問題一致を以て

伍堂商相 音点解的

氏の登集を求めて政府の意

政府においても二千萬

るが、大概点音脳部の意向は最低 度が耐をなし目的度敵を則してゐを決定し、弱硬な態度をもつて再

航至宮頸について陸相の急慰を求のため國張宮頸の必要を強調し、 次郎氏(交友)上与航空事業獎勵

ないである。物質総質は世界 ものである。、物質総質は世界 ものであるが、前内閣の像 の現象であるが、前内閣の像 の現象であるが、前内閣の像

5

れが回答を得た上小山委員で

せる地方艦艦候給に絞り着動な闘「都覇を開き或としての昼後節方武」疑問答より、之に職権して水野迅金増離膨悪が終決は、現下の研究」ので、その同答を待つて直るに戦 大師内丁と師原田内相との間に資金が無いの 一般 が 東教上に及ぼす影響について「東京記書」既好達では地方数付 | マンれに勝手ルとしての50機能な | 繁、東教上に及ぼす影響について

は行成の題問金付交

るさ視大重

(年期十時十九分開節、日程を整一(東京市語) 三日の貨廠院本館部

説は對する自産に終り、過版の大十四代を深際に決し随榜大臣の御

杉山陸相 開工書景後 神戸野寺 (戦党) の質問に割し

研究)より高順委員所の結果を

しまつ諸断委員長適井忠党伯

前の配議決定に基き交付金増派に一立窓を命に同日正午 對する政府の安協代家につき取地一たので今明日中に臨時間認に 「東京電話」河原田内相は二日午一方局長をして大統常局と拆衝の上 父付金增額案 内務成案を得

一千萬圓を死守

地方交付金の増額問題

大学の一次工作は、本が中三陸が出て、大学の日本選集に応うしてある。「日本が出て、大学の日本選集によりしてある。」に各単純的上華及び地方が出た。「日本が上で、特定の可能が関いて、大学の日本選集において、「日本が上で、特定の可能が関いて、大学の可能が関いて、「日本の可能が、「日本の可能が、「日本の可能が、「日本の可能が、「日本の可能を研究して、「日本の方に、「日本の子に、「日本の

の意向は

の職総、建選り撤保の擴大などに「資本へ午後今時十五分休息」の職総、建選の撤保の擴大などに、資本へはない、特別の連続問題東非野と一般爆撃と、一緒保の差替へはあるから購入。

135

全載實物。

Ø 後 保 枝

取敢す南鮮から北鮮

響うでうに細胞に駈け浴つた。 中心の試験を取

した。

世

繪

作

標準賃銀等も決定す

勞働調率事務打合せ會で

なだつた。

「おい金か、近ち谷りやっ」 すが、着独へを取します間、弾くすが、着独へを取します供をいたしま の条材にはと にてお待ち申

脚鍵ロから奥へは男のいう人れぬ 果ると能つて来 た。同心を怒し to

!对错時臨0部樂俱人線

異も町路行の役人が励めて居りま

日那様、正跳標のお屋敷は表も どうであつたい

して、何んとなく騒がしい様子で

!! 利増時館い自面もてさるささ

定見て来たお金だった。

遞信局辭令

河原田內相

勘型に重きをなす一方、挿絵家としてまた獨自の境地をゆくり思げられたとの選集。これに配する挿書は 國語會を員として 洋す、 菜料、 製品の中を行く変配の解析器を解表部を中心に、裏やかた活性を整盤に繰りました、つといて 大衆文壇 における第一人者として 特異の作風りました、つといて 大衆文壇 における第一人者として 特異の作風を設連配中の職技型三代作用呼吸機構にはが連盟上の職技型三代作用の作風を設連配中の職技型三代作用。 一元に重きをなす一方、挿絵家ごしてまた獨自の境地をゆ

◆満部守雄氏(糖規理事)糖里長 橋へ龍紫中のところ三日ヶあか つきゃで騒圧

経濟提携の

◆高 安彦 不足の聲の路に無機を飲く勞働

試度補の有力者部 如の其場化上策は着々地な

"为國派首即察及義務教育年

天地支養 野通線校製貨の精神訓練統一

泉村は地開點踏んだが、もはや

た。温様は既にお辞

るのに相違ない

その間色は上級色に連

き取った。近を、組を解くと見る間

様を作られた

小說實話

を発生を表します。

た。着物の間に置しておいた手紙 できらいへば部は臨坂陰の家東美 たお師のことに表が削い あつたとは近期 えツ、無窓なる お恋の夜に *。刊増時臨"い白面もて*と

中では、大きない。 またの間と、 できない。 またの間と、 できない。 またの間と、 できない。 またの間と、 できない。 またのでは、 できない。 できない。 またのでは、 できない。 またのでは、 できない。 またのでは、 できない。 またのでは、 できない。 できない。 またのでは、 できない。 できない。

来てはならぬ

ことすでも住むり建

大 き は 体 レ ウュー 花形

!! 行意大のずら知井末 るれ意るれ意

!ひろそ作像めくつらず

!足荡大6方誰

が高、電話、高地でも後に大信 窓の大型製象。終らとても耐点 窓の大型製象。終らとても耐点

で 然もとても頭白い

なものをすべて焼き捨てる、

を開けると、日道からの手紙を探 つた条付は、「能て」、簡前の抽出し 7:3

たりと版を解切

10日本の子やイヤの美ノー

一日午町九時五十分東京クラブで佐藤氏と帝見、林首相のぶ向を際へ外相就法

住を表示することは確認である

り選がに回答されたい。一日も選に要任外 【東京記書】 原候外相の変散を受

を収合官邸に今回の陸重機動によ るる るる るる のでではよりでは出いる。 を取りてはよりでは、日に中 のは、のではよの電子は代目されて、 のは、のではよの電子は代目されて、 のは、のではよの電子は代目されて、 のは、のでは、の電子は代目されて、 のは、のでは、の電子は代目されて、 のは、のでは、の電子は代目されて、 のは、のでは、の電子は代目されて、 のは、のでは、の電子は代目されて、 のは、のでは、の電子は代目されて、 のは、のでは、の電子は代目されて、 のは、の電子は代目されて、 のは、のでは、の電子は代目されて、 のは、のでは、の電子は代目されて、 のは、のでは、の電子は代目では、のでは、 のに、のでは、のでは、のでは、のでは、 のに、のでは、のでは、のでは、 のに、のでは、のでは、のでは、 のでは、のでは、 のでは、のでは、 のでは、 の

◆平佐京太郎氏 (雇用職長) 简4

時節柄頗る注目

3

「脳頭検修をかわて本日中に林首とその出路を送売し、佐藤大使は

製匠と簡型、縦直角の意同を除| めた上置者の回答をしたい上置を全介クラブにおいて射腕大使佐膝| 直邊域所の外変方針及び跳策を纏い吹ひとして三日午前九時五十分| 叙使するとしても横首相と簡型、「果京電話」 小輪鷹吉氏は縦直相| 局の質機を説明し「自分が外相に「果京電話」 小輪鷹吉氏は縦直相| 局の質機を説明し「自分が外相に

首相と會見

開選氏と簡見、機直相の歌回を際 Aの関びとして三日午前九時五十分 好の関びとして三日午前九時五十分 好

佐藤大使ける

人機で質能することになったが、

| 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 10

党教授婦本式雄氏 ・電問題の静薬に就いて・周大 ・の朝子から或は殺害されたのでは ・発乱

助教授小田忠美氏 | 消費(『よ)三人作れで水が肥満折せ、また者とこととような、コニューニューロ・ニーロ・ニーロ・ニーロ・エーロ・エース人を剥べると女が向片国層で男の第一日々都山財政の語を向大學、とか 旭商僧の歌人内臍未難(よ)が、取りに行き呼び乱返した時には道「十分より第一節動命令部跡内に閉」人とも剥べると女が向片国層で男の第一日を都山財政の語を向大學、とかは西僧の歌人内臍未難(よ)が、取りに行き呼び乱返した時には道「十分より第一節動命令部跡内に閉」人とも剥べると女が向片国層で男

軍法國政第二日は三日午町九時二 通二ノ五八字次開八章を加 かれ間目に引続き非公開のまと事の方が小気のいづれる記憶性情報

作をおとりに使つて結の下で太平

職家田したも同人は武物の美人は

暦 電 北西の風 後には最 野 北 北東乃至 始めは雨

製金本電

誘拐されたか

断制された形飾かあるので各名

利見間の特急機に連絡させる上

が応よ八月から實現、東亞の狂

象牙の塔を出て 街頭に呼掛ける

(副4年大)を出て御頭に呼びかけ、既に同大 | 腰々駅布職通を公開して車取浮線 | 記・職に原規主使・錦木郷西局春 | で来たか何貞も極ひその瑳頭馬を7の碧頭季 | 哀境音大ではかねてこり急呼の勝 | 蟹熊巌蘭、文樹南が光娟に立つて | 局側から精川県、(船火、英河内附) | 造れた末を引きづつて滅に推築書こコースを

城大法學會も協力

簡素ピューロー三年の最には鉄道 一部 むしり換は一足先に繰ります 来る人、九面日露天で開催される。事の歸途的正の立状屋でしたたか

すつかりねるんだ水底にはも

5チョロノーと説、あぶらめ、

ちつと多節りしてゐた太公皇

謎の殺人トラックク第五二二六號 | 詳細にわたる損害手配をなすと共

踵路署必死で捜査中

の金に運搬手の行方について翻一に月下その所企物也にピッチをあ

あ 庭としてはを関らず、手かより話 庭としてはと関いてれた自生を一組を中

極端した智能者を取削べてある

水の得る最高の

ブルーノ・ワルター指揮

管 粒 樂 團ウィーン・フィルハアモニック

金九円也がよ、解説書つき

、 あい方に親理館量)

た模様である

れた女を狙びかけるやうに

お隅に焼けて釣の。脂肪化

釣堀風景

直もに二月午後後の住居を襲った

成は早くも高飛ひして彼の延安

でせた人犬の白、邊の二名の母 うな確認地行すると共に一方 「供を連れて逃げ出さんとする

尋常科入學者

ら腰の辿ってんは常の様での

ビユーロー會議

我消粉を同行、取商(た結果、仕

「東京電話」 即選兵権長に両行来、両片を役づてあると語告したので「家人が原廷語路で、「田北た事」復審理に入る。 したで、瀬川県のドで支那人の女」「の領罪人が兄が行ってあるのを向しまり、「のできた。」の関邦人が兄が行ってあるのを向しまり、「のできた。」「の関邦人士を表十十日に東京の一年)」「の「東京の一年)」「の「東京の一年)」「の「東京の一年)」「の「東京の一年)」「「東京の一年)」「東京の一年)」「東京の一年)」「東京の一年)」「東京の一年)「東京の一年)」「東京の一年)」「東京の一年)

れに成不定時間以二二五一日夜九

八時半での京成製水町一三つ本に観り町に捨子二日午後

るのに深がつき、著いて見ると今 (明日)

三日朝の天氣槪況

スペープ年級研究所 大阪堂ビル洋芸技序院出身 京城府吉野町1月27日地南原 本村、自由社 次間6月7月

御會

葬御禮

视野

戚 友

入俊 一

司印

植苗縣 別八円 特六円 湖底縣 別八円 特四川

二日午後六時ごろ炊組塩の棚に置 京城新芸町二三五郎均成さん方で

京城地方

京 城 一部山线兵町

阿片のもつれ

應用籍の下へ行つたが金銭ひが思

して中高光に置つたものと物明したとの二人を整に置いて底についたところ類域ガスが何め切つた温楽に売締入りのコンロを懸地に入れて背候織りもむつまじく明日の娘しごを概に描いて底についたところ類域ガスが何め切った温楽に売締入りのコンロを懸地に入れて背候織りもむつまじく明日の娘しごを概に置いたり、ほの中よしたのでは時の似。一緒にすることになり二日年後から中また実施としてある。この二人の名妻にヨー歌の節節を置して日報からの仲よしたのでは時の似。一緒にすることは近年の神よして日報からの神よしたのでは時の

い庭の上徳子里敬姓長(2)と歌に田日午期三時とろ樂しい殿路についたすく午朋七時ごろになつても起きて永ないので、不識人我業しみの日も待たでカス中海で高い酸となつた踪話が鑑頻りの處に起つた―― 京城大興町三 二二字が郷地の伊申氏(2)は 極の節句の住日に六十一の老婆二人が生き氷らへた頭腦のお祝を楽しくしようと深更まで舞魎走の仕度をした。その祝日に慰

一次ガスに中毒して

提出、鮮丽一如の對東を徐を

光化門事件の訓へな

子路一館された事故など即今様は思る交 交通道徳の喚起

昨年の組水害に到する義権軍は日

各道に配分

第11名世別地(*5)外九名は二日本 (本)と、 (本)と (a)と (a)e) (a)e)

胸もをどるリズム 清新で近代的―

今月ジャズンコードの離黙報!

、 精 士

杉井 幸一

でこれが配分方考究中のところ三

て大騒ぎをかり、結局制致りは影

呵_添 病料**方** 院 聚鴉彩

連島 対外の菓子となる

といる間もあらず大変

郷軍分會を強化

来るべきオリムビック大学観覧配在政が出席、左の議題

喜びの節句、忽ち悲みの淵

京城在郷山人聯合分官を初め全野一分官を強力なるものに統制すべく

京城は五分會に統

軍人分的正に使り従来の極々たる。 京城では道米の十八分障制度を収土土地域合分性は昨年十一月の在郷。其職的方法を練つてゐたが、先づ

智光管内中心にはめ五分階を明識の的五千名の部類引人を原城五巻

人の郷土の機能緩帰の増大に努め

言を見る指数

杉井

幸一

『あに店取育家が料ベンキ

と自己なが陰

松島 詩子

をがまるよる

ミッキー・松山

還暦祝の二老婆

かげらふ燃える

7巻の野田へ行きませら!本社山 巻ハイクコース巡りを行います。 - お顔は龍政府戦から先つ阿郎等 壊りまみれの遊戯を惚れてよごれから眺け出て冬の婆ひを解き、サ 巻のハイクシーズンを封切る望月 ことが出来ます - 駅子寺戦勢から汽車に乗りますは鼻が割ってゐます。頭つた温楽 ハイキング列車々を運動してこの 平易でお子様方でも漿にハイクる 山を除りて (三) は島が期つてあます、頭つた温突、ハイキング列車々を運動してこの | 平弱でお子様方でも景にハイクる 野には路災がもえてゐます。山にの他では來る七日(日曜)。原日一部月寺コースは京城近郊では最も

京日ハイキング列車

ない春の大氣を胸一杯に吸ひこぎ うではありませんか、あなた方の一出しになれば切符をお渡しします一

京城職的にお郷まり下さい。近話 ボーとこで盛りられても結構で、 第日午前八時廿五分京城縣鑑の27 は午後三時半ころ紹月寺候職を 第日午前八時廿五分京城縣鑑の27 は午後三時半ころ紹月寺候職を お旅籍は握さんかお振り下さい

認しますが、途中は副里、往十里は午後三時半ころ紹月寺眼職を出 外から飛山の方も同様です、融川の管理がありません、京城縣 のない方でも参加は自由ですが

お子様方の健康のために振つて御一申込みは六日正午までとなつてを

午前八時迄に

を放し飼いにして、京城府民しい豊で飛び廻る可愛い小島

で選ばになってあるので、こ

あてがつてるたが、知らない 設造山林郎では二三年明から

のパラダイスにしようとい京

いばんで脳球して臭れると呼の森のギャング あるが中には増山が整備

引渡の方に一金五十回也辨頼として差上げます 咸南県南臼本町二丁目(京西一三番) カフエー春雨 - 化

儲大王

盒

込を名字 にて提供す御布 にて提供す御布

リード式 膨脹機

● 五合の米とトウモロコ 市 吸大
一通西比本區川建筑
所 作 製 島 兒

島

日の時 自称は早土個子の兄? 古山 一秀夫の妻、ハカラと白く 身然し非の他 進の好男子、「知要、ハカラと白く 身然し非の他 進の好男子、「「」」の情報に 見色問節 オーバー を育し 茶色中学学(2)



らせん外人大二名の人用着交共他 | 総大意服人は既製の如く練聞器にのるので、親路客では三日男、右連 | 京城橋上町郷香郡長三宮氏名の最

警官宅强盗事件

に苛酷である」と難じ龍岩御盛分に對する紫局の態度は余

し更に「朝絲江沿岸、河底から注意してほしい」

同熟地の強

が、別職の都門県特出諸族でい

務部長、杉山土木瀬長、交々思っ 間の方針を買し、之に関し際口内

の側細に否へ午後五時十分散館

心中失敗娘

またも家出

内鮮融和か

春光を浴びて

郊

外

素 描

(本内が近長 間沿な巡路に開に

と第一陸職被に對し金面的に道當

存すさん(")に廿八日無暇家山して大田」 公州木町加藤県高氏の娘

和十年度決算は委員的配となり

間などを領国一致で決定、

午後一時から開館

- 後一時から明治、調べて見て驚いた、大田府大興町、とり止めた程利思の間解でその後、昭和五日日は1日(心質りを保した上頭さんの机たど、公殿で心中を譲つたが歌く一碗を『寛義州』中北道「大坂崎卓上ないので家派も心配し、出した、この所人は昨切六月公州

通や鍵型、直に大田製造保貯額を一信してあたものらしい。 源甲米二:=同れも侵名=との姿、は表面のみ間値を嵌ふて際えず通

の九氏を選供、右委員は適當た時

一門の根因をされたいと希望、引

委員館を開きこの六日までに委

観り教育機構を廣元してほしいに使つものであるから出来得るに使つものであるから出来得る、根幹であり内鮮機和の智も教育。

述べこれに對し美胆知事は初等

一教育機器としての目的を選ばす

師に人物を得れば十二分

で述べ「真の像人は先生の訓育に 数官機關に對する銀行府の大方針

熱意が足らぬ

龍岩浦水産校卒業生の指導

姜議員突つ込む

道路の舗装費では 農村を繼子扱

◆下原取内務部長、道路の必要限 ・は廃棄を割てし始ってはどうか をは廃棄を割てし始っては近に、然に力を誘って本財に割しても極 が重要を割てし始ってが設定し、然に力を誘って本財に割しても極 が対象を製べな行ればならない現 ・ 大原ので通知を製へな行ればならない現 ・ 大原のである。現である。日笠要都 ・ 大原のである。日笠要都 ・ 大原のである。日笠要都 ・ 大原のである。日笠要都 ・ 大原のである。日笠要都

河道路と深利地域の資油金に如河道路と深利地域の最高比別は含まれています。

で将国能議は(前川)金川岩路政 對し李内特部長等直に否認、つい

経にどうしたか難残のは脳壮族 ・ 本表別が高級、 というという。 ・ 本表別が高級、 というという。 ・ は脳はの無理による事態してある。 は脳はの場路を第してもない、 というという。 ・ は脳はの無理による事態を考慮して可及的分類の対路を第してある。 はいいる
・ はいる
・ はいいる
・ はいる
・

(臨津)と土木戦長との間に質疑

割するのではないと結ぶ、これに

五分開格館して午後三時十分開館」のでは、と答へ道でもその必要を設めています。と

な 本字内務部長 環利関係者には日本字内務部長 環利関係者には日本の表別の担び版を資金させる密

国 に交通文化の共和が先次である。 ・ 「規想の通いのは交通に恵まれた ・ にめである、これが部化は一 ・ にある。これが部化は一

いで歴明機能はの質問があり、

機關については本府で銃闘されて力要認してゐる民朝鮮の中華教育

の日程に入りたいとの動脈に前出物議は(光州)議事進行上第四日

いとなだめるか岩線はなかり

▲等芸曲議員(官等)管導の国際 福祉は鴻洲四間で落下するやう であるが本所は本緒として理や かに福田四間と連絡して具態化 すやうに番む

提す事になる 経す事になる に 自州帰助の市街道路は最近

野して遊は言語の向上を増する。 野して遊は言語の向上を増する。 野して遊は言語の向上を増する。 野して遊は言語がある。 別へば聖 見ると问題である。 野人遊話に 野して遊は言語の向上を増する。

薬は都市に偏せず社落に片よら▲金定國祖員・知郷の領述には歴

相變らず土木費で賑つた 全南道會の質問戦

于闽は道路敗修工事製五萬七千餘 **芦大像郊中十二年度から質励さる** るべき直路舗要工事費二十三萬八 粒師複数に集中、七百廿熊英風の に入つたが論職の矢は何れも直 流形氏の接腕あり、

微いて日 ▶「「は読劇外に亘るから否辯を ▲伊彦土木課長 歩だ遺憾ながら

道路の振樂館取を促殖して真ひ 本部には環境(光州) 建深橋行き 対なの双路を、1個月上に切り下 が表の双路を、1個月上に切り下 はつの双路を、1個月上に切り下上 はいの双路を、1個月上に切り下上 が現の双路を、1個月上に切り下上 が、1000年にから、1000年に対した。 っすれば級既は都市に集建され場 かとの論に番外下仮版に特部技 殴行には歴典が得くなりはしな たほその他顕事地行上の不平と直

▲伊連・木瀬技に 本の他築外道路は新造画が管理 その他築外道路は新造画が管理 しておる関係上道の土木瀬技に

▲李允煕直具(徳州島)満州島に

上木費を論難

金鳳鉉議員長廣舌を揮ひ

参與員を煙に捲く

遊路の舗裝は利用價地の多い部 対路の舗裝は利用價地の多い部 が成たらしめる方針である。 では決して表別を留てにするので はない

の他について問ひ の他について問ひ のは一人高展園は多くないか 型の十人高展園は多くないか 型の十人高展園は多でないか では、一般の世界が表現をして、制能 とのできればでする。

上危険なり

▲松本知事 その通り變更する

いで祖標推議致から肥料勝月そ

水上末の答照に對し

と方証し更に清晰間道路に言及 清晰間道路である。然らは南 地の市街道路である。然らは南 は 地の市街道路である。然らは南 は 地の市街道路である。然らは南 は はないか

延漁店の修築、西水罐漁店の凌漢 の否配あり、山中最近(雌山)雄 と方説、内特部は、旅に主木郡長

無難が出、興災、回西西道路等の

▲土木源長 能ふ吸り補助金はこして福長三十分の延長を買す

能上級り情報のする

度がある

動音を打切り午後四時四十分散館

ついで二三質問があり土木費昂

知せず「然らば、近年後に目的を遊

て水々と質問しこれに到して尾崎

近前一長は「決して放伍しておかれ、板部

の如きも委しく制造してある」と

「壁に若へ諸島都く信領祖をたる

や謎状一時間の体別を覚す

資金を獲得せんとして發覺

偽十圓横行の大邱

世生徒四、五十名か百輪教諭に引 一後一時半時所、傍櫓間には女高 その施設を希望すれば岩水上

對し些神秘版のないのを憤慨して と質問政品を要型しなほ西海岸に

しなから清潔問点的に做本から図 はないか、今家環境間透路の世とて京城祖山間道路を担け 会で地域が極い体 会で地域が極いな 上不保存は上て京城祖山間道路を引列し渡に 賞地方を力就

農務課長と金種業課長が答称し午

本 人工監督議員(輸州)土水管島に の 上 にして延安監測を 経利する意思 本 にして延安監測を 経利する意思 本 「はないか 「はないか」 工事をするよりは公共方面に今一後四時半般資金のに巨額を投じて道路の舗盤。 関が課長と覚えために巨額を投じて道路の舗盤。 関が課長と覚えために巨額を対してなるとが問じているとが問じている。 このませんが

四に耐し除りにも尨大でありやる

次から次へと 急質問

教育上の擴充その他で

いきまく諸議員

北に薄く南に厚いと

面極減を優遇せよと希望を建くれ、費などいかたる方針が の実験が手が関節域(谷由)は凸面、 機關の光質は同じりも洗得であ の実験が手が関節域(谷由)は凸面、 機關の光質は同じりも洗得であ 機関の光質は同じりも洗得であ 機関の光質は同じりは同じりも洗得であ でなが、対象が、中界な、高楽 をあずった。

の所見を聞へば田中衛生能長は第一修造の町科書所外 松徹正、不駐明僚をたちつて計局 率されて傍聴してある。原質が設定 (北津) たつて海州道立原院の湯 開業のある部山町の家で大掛りた 原書では縁起となってあらゆる方 () | 限名□の行動操作中、その妾 値から担当を続けてゐるが、個々 【大印】十四四語紙幣の顧識に大

沿面並連轉

成、機原妙子、西岡節子、福本 中村孝子、諸外祖茂子、森甘衆
佐、機原妙子、西岡節子、福本 中村孝子、諸弘祖太子、石を 北島祖高、守鮮美祖立、高震等(合称諸五十五名 の中、諸と明本、福本五子、河合 は、中に別高、守鮮美祖立、高震等(合称諸五十五名

枝、添尾剪子、瓶房旁都子、田 枝、添尾剪子、瓶房旁都子、田 地方向子、榆可修子、松本原子、 地方向子、榆可修子、松本原子、 地方向子、榆可修子、松本原子、

中村孝子、精伊郎技子、森田遠 原田和枝、東野 一二三、安保総 子、木田墓子 中東日韓子、佐保 子、木田墓子 山東日韓子、佐保 華、願賀江子、稀工真地、大石 養子、赤川弟子、顧田ユキニ、 藤田美代、小丸を熱、井形キ、 藤田美代、小丸を熱、井形キ、 藤田美代、小丸を熱、井形キ、 藤田美代、小丸を熱、井形キ、 藤田美代、小丸を熱、井形キ、 藤田美代、小丸を熱、子川東子、上

対京を組めんとする一世年的で観 したこのである、川野き取制中

ほ(ご)一日午期五時頃興南宮に楡 兴商] 回内上大概图三十八般真前 鮮窒祉宅荒し

【興間】興府局な校では十二年度一

内工·子

興南高女校

和坂陽子、尾上松子、原田久子、野中醜子、樹田 幸子、幸野 萬元 程子、野中醜子、閱營優子、忠 田良子、及縣知納子、吉田丁

書は野茶賣り

夜間は窃然

荷車に衣類山積み

郡されたが昨年五月以来領職一届 国、洋最、指稿 時計、思真佛等

関係主木豊富一器 できた。 た近日第一

[職團] 的二战出

粧化ぎ急 /非是に

軽に化粧が出来る使利白 用を兼ねてゐるため、手 クリームご白粉の兩作 **盼です。**しかも化粧葉に そは思はれぬ程ですから の自然を美しさは早化粧 全く素適です

野気行胡人となって府内を歩き踏

◆……【福田园】時

ろを通牒した、取載べの結果

語画

國用補助は徐りに称く各産器部門

勘深製十九萬原国の中これか

▲前田産業課長・動業費は記治部 なが水産が脱か能りに多過ぎはし に對する則當は果して當を得てゐ一

に対する均衡は充分者とはない資源と利益又

李内務部長、勝來或はさら云ふ山林課を設置する意見はないか

(新山) 重新通り

間するものが過少の節がある田藤良(羅南)勘菜費中農村

發動機船に七十三名鉛生り

出發問際一

ついで山中議院

改備、產業協會、水產指導技

魔業課長、大谷技師の答解があり 宇事業を<u>論じ長</u>顕音を扱ふ、則出 これ総政政策に関係が際につき

家言をなし繊維國派に喜及、緬

町田産業職長明快に各へ 斯氏の 側元に對して 長語語をなし

合格おめでたう 馬山興南の兩高女

の方針は「日本早に和り「実験配は「十五日から二十八日。」(受行所による)山本鏡子、郷山高女(慶通) 関節人とし 「尾山」 馬山高寺・摩以本神底人 た、この外伽郷が中五名でいるが長 側形で跳行・声順音日本十九名中語といる

游子、我松于四子,今泉湖上, 不知器美、坂本忠子,大野館 子、桑野區子、極地百合子、存座

網打盡

外套帽子類 すでに三件

◆・・・・・世は結州艦時代、こので機

放自国に上つてゐる 記録を聞いてゐた强か者で被控領 り恰好な家を物色しておいて便は

所長の選合さんの年 局長ならぬ刑符所支 て年齢を入れるのでは保持があるですなの家族のを対記しいですよの家族のを別記してですよ響談離議……

ンモルホ る返若で

お化粧が早く出り、一番、水名はかりでなく、後水名はかりでなく、後水のの強い超合ホルモンより一層の健康ご豪を増進させまり、の健康ご豪を増進させまり、

してまた、そのご利益が前

をたのまれてゐたところ知人のいや或るところから縁さんのい

◇……サテ州中の正月は言之能 さんところは四版の山で御座ん

資電原料を配合してあ に日ヤケ肌アレを助じ りますので四季の白粉 用の便宜をも考へ、特 女性の淡化粧叉は旅行 として充分の効果を撃

更にクラブビシンは女 成功してをり味す。 學生の皆様、スポーツ 綜合ホルモンの配合に

効果を認輝させるため みてなく。更に若返り

なる美駐作用をするの

自クラフビシャはたい単

て非常に化粧の手間が 一品で兼ねた便利自粉

のクラフビシンは特に早 **ビクリームの雨作用を** 化粧を目的とし、白粉

省ける!

批手間

か

際を通せしめの値す、建築に用いられる値寸塊具、

小は人間の毛炭の五十分の一の細さの繊維から、大はアメリ

を備すの繊維等々は既に大量に、主場から市場へと運び出されてある。新しい態の値子は今で

つたその答聴使で、お人

祭雛の本日らか生學女の蘭波。。。。。。。

着到節使形人おぶ結を波・日

完全に引づりこまれた

種 苗 目 鈴 変

選<u>具</u>具 語 屋間卸

ヤチ商店 सा अर देश 町西谷水清區東市阪火 所作製器音蓋林小 (本要變階是緣型) 九五六四邦話電

気が持いできず 大・り戸宮の富も 大・り戸宮の富も 大・り戸宮の富も

メーテルリンク原作 | 1神 | 三月三日より五日間

第四个本人の南京市田大 南京東京市田大 南京東京市田 河流 100年 100年 第三一大九 国大管領

開発を書る編章探測出て海線 股力 明一 東京 (本質も と質勇能なり、部子 造 リ 特年) 対解は200なに知じる字 と表 造 リ 特年) で円線のでり活動低高値を手譜 機無計式 り大す数り質なま理解が、個で 横シ ・サモの名本準格でも寄露れして一横シ

型鉄は大きり では、 一日 では、 日日 では、 一日 では、 日日 では、 日日

放電

と、平内は改めて清大お節第の 互ひに今日ま **江戸設に來てこのでうた宏大**

る、しかも冬季等に至内で誕生さ 頭子の表面から放散されるのであ

いや。その過去といふのが不思

ルギーはやがて、

の底流が駐留の地下室

三月の文藝時評(上)

見透しのつかぬのは、

と交

壇

々たる舞踊の愛情あふる

六日夜·府民館·本社社會事業團主催

トクのユーニングが確

志津三郎策氏の名刀を床の間の

L K K

都の命の生命活動がら

第十志)

/ クショ 的なもの日本

(ス製工機型) - 可接回体配信 施政 店 砲 銃 號 壁 常 記名

0.00,97080-90 三月三日より上日間 大学會大一座 映画でおたじみの巨人に 情層記述男 海田紅美士 一、五代信間順荷 三、おばろ夜 四、医院内 三、おばろ夜 三、おばろ夜 三、おばろ夜

₩



























*

三月1日よりと目的 1月1日よりと目的 1月1日は 1月1日 ゲカワ



場場別城京高の



工業の

一國で論議の

世末高 中 100 年 100 日 100

| 大阪和米協合 | 大阪和米協会 | 大阪和米の教会会 | 大阪和米協会 | 大阪和米の教会会 | 大阪和米会会 | 大阪和米会会 | 大阪和米会会 | 大阪和米会会会 | 大阪和米会会 | 大阪和米会会 | 大阪和和会会 | 大阪和和会会 | 大阪和和会会 | 大阪和和公会会 | 大阪和和会会 | 大阪和和会会 | 大阪和和会会 | 大阪

A i A A i e e



£22£3£deeec

主

≡

24

Ħ

·Ŀ

八

儿

+

主

=

古 宏

Z. X

0+0 **00**0 • œ **包**

(語) 一五は何か下途――例へ 「出」二大戦にその一路なか足か―― に関打つものでしたか に関打つものでしたか ら「ぬ十六」の景の占護が適切た ってぬ十六」の景の占護が適切た

村並鳴

(制限時間各八時間)

聖年太子西西土土西北大大三

□ 日本 は、 日本 と は、 日本 と は、 日本 と がし、 日本 と 入らせて し と カケ 中 た がし、 日本 と の 大 の と で し た の 足 打 も に め ら あ ら う が、 単 寛 を れ は 日 の 二 、 四 は で は た い で は で は か た い で は で は い か ら 前 す る と 、 四 れ で は た い で は 理 か ら 前 す る と 、 四 れ で は た い 誼紀

本 田 明 1000 日 日 1100 日

京城綿絲布

双股度開 五枚朱島 六 領報 龍 接子 島 大 被

亚亚岛岛岛岛岛克

ばならればならればならればならればなられば、

るものでよこいまこ而でませ、 ・ボソリン段を削殺してあるの。 ・ボソリン段を削殺してもガツ を取りしている。 ・ボソリン段を削殺してもガツ とに對し政府は如何に考へてる。 「・ボソリン段を削殺してもガソ とに對し政府は如何に考へてる。 「・ボソリン段を削殺してもガソ とに對し政府は如何に考へてる。 「・ボソリン段を削殺してもガソ

藤久寛氏(研究)

更に百四十萬圓城 再修正豫算案提出さる

[黒泉泉館] この豫淳總額二十八億一千三百九十三萬。千興縣に大野兼学及銀利子1項三子自である。除することに決定した際修士集及総を同日子後教練院に提出した。 野八十九萬三千頃、東都教教縣郡五十二萬五千國を天本教教師より前である。 耐して右線部の内線は蘇夏黄泉の映修正に映し 二十六萬八千國に比し 百四十二年紀年20世紀第二十四十六萬八千國に比し 百四十二年紀月2日第二十四十四十二十六萬八千國に比し 百四十二年紀月2日第一次修正豫年初

大然石油を開發せよ

内藤氏叫ぶ「貴族院本會議―=ョ」

石油に要する石泉九万萬朝は日石油を考究せればならぬ。人造料に不足を告げてゐるので人造

部で所以、交付金出制級につきは

一、政府より同答あった場合は政民ともが翻を合せて対策を協議

三十六萬八千圓に比し百四十三萬圓の滅額とな七千圓にして第一次修正豫五額二十八億一千五

野八十九萬三年頃、文第省の監督納行年限監長督師に東する長野五十二萬三てゐる。而して右戚都の内論は感見会取力國家首理法総實施に要する起てゐる。

京部地の(民政)和氏の質問に登

東京推薦 結城艦相は三日紫曜 ならぬから無間に続き

院整在第二六科的版上東西(此女) を以て国際計畫の五大方針を決定

コムミユニケを懲改して、右は、

に回釣した、脚線は五線六千二百一十五百五十五萬五千周百二十大卵一八年度海県藤原を可決直に本部論 十一朝を脚線結跏と残錦派五線二百八十七萬二百八十七萬二百八十七萬二百八十七萬二百八十七萬二百八十七萬二百八十七萬二百八十七萬二百八十七萬二百八十七萬二十七百九期であつたか

はいることを範囲するも、技能地路2の必要を強調し、次のでははイタリー数値が立って、運転を全部投りした、活躍が一次に対してて対策されてあな。他の公認像に落ち下底成田委は、源光し、アメ・可能性が決して対策されてあな。他の公認像で発展した。と一分「特別」では、アメ・カーのと無性であることを範囲するも、技能やの数値に落ち下底成田委は、源光し、アメ・河に対してイターであった。 米海軍々令部長が

根據地を強調

一、十人最早上五十五歳までの全百掛か如何に特局を住大歳してでもなったところで之を見てしてもムフソリーニでという。 アラメダ空軍

現下 の層際情勢は書だ版 四、アメリカ海軍としては と 一類にし、アメリカ海軍としては と 一類にしては と 一類にしては と 一類にしている。

2で居る所置、均概のとれた福軍」 い起海込みが選ばれる、脈ば現目 簡元章に 脚するアメリカ海里

て安伽県牧とする恵间の様である

[東京市語] 医酸酚芜醇質行变酸

質現に邁進 交付金增額

産金買上値引上

目下の處考へてゐな

で、置質粒には難に縁起べに過ぎ

力能に器材を 電根機地を付 を が大平学職を は を が に 十分能 を が に 十分能

英學大家執筆!

學費低廉無一

9

册

究

社

南至三日間盟 三日の中央政治 正副秘書處長任命

表性物で外交交通を周長央にこ同 時に正別の計論技を性能総表した 時に正別の計論技を性能総表した 世 任中央政治委員會研報書程表 群 仲 明

一

設は上り

長及び官房介置日午町

十五ヶ月卒業

BCの識方から

解 今 原品品

在滿の無籍朝鮮人

よし國籍

◇直信と果牧節州川内卒業式は六日午役一時から同校で銀行日午役一時から同校で銀行 会と催し

五分から開館、第一號議案の第二

城府)階級質励の問題で投げ、村田 副門に入る、先づ戦相副議成(京 9、次いで毎月記録(宮川郡)の 1951大佐(新任松山山緑山 頭令宮) 郷任挨拶のため三日子 配来的 地三日諸城でのたり、通信事務説派のた

銀行式終了後左の如く外交方針を

してるというで

二時五十分体証、同三時形開・中の二時五十分体証、同三時形開・中の二時五十分体証、同三時形開・中 代表他の保証に▲建つた七ツ直 具を前にした同様事は異要とし で足をのばする時によるとす で作用を利用し相當なところま の夢をむさば 食器をひょう る、勿論明行

國州加助を要求して午後五時上 いで選田議員(京城府)数行費の

國民政府の 兩部長更迭

ちの動脈を見ず いられた釣針を 「カワツ、しま しく本間れ越 らしい、健康 A7201 1

●3錄附大九撰新々堂●

目丁一町見士富町麴京東 部學信通社究研

(番五八〇三京東替振)

との開館につき様子大賞が明確に半政管した、豫京部談価と記録価字政管した、豫京部談価と記録価字政部は (東方)の諸氏の質問に對し極準

河野一郎 (武弘) 由谷襄治

物價對策に協力

分科會で 陸相答ふ

(城事長は三日午後六時院内都長)東京電話] 水井田成、安都城方

交付金協議兩黨幹事長

務

阪「京城、大連に寄航大連で支援側航空會社と連絡して東京北平間を約九時間乃至十時間で一日連絡せんとするもの「京城、大連に寄航大連で支援側航空會社と連絡して東京北平間を約九時間乃至十時間で一日連絡せんとするもの「東京党議」警督はかれて東京北平間を1日で連絡する高速度北支統監視院について戦闘戦争であったが大量成戦を得たので三日平町の影響に乗算が大分科学(東京党議)警督はかれて東京北平間を1日で連絡する高速度北支統監視院について戦闘戦争であったが大量成戦を得たので三日平町の影響に乗算が大分科学

全線にダグラス高速旅客機を使用

大阪・京城・大連に寄航、十時間で

科會で近相、

計畫內容發表

日本米穀會社案 來議會に必ず提出

| A | 展||氏 () () の質問に関したの | 出して可能である。 件 | 未被以事訴訟を () 日常総成が立て () 日常総成が立大者では、) 日常総成が立大者では、) の間のには、) の間のには、) のできなりにた。 () には、) の質問に関した が) の間のには、) のできなりにた。 () には、) の質問には、) の質問には、) の質問には、) の質問には、) の質問には、) の質問には、) の質問に関した の | 出して可能である。 () になる () にない) にない) の質問に関した の | 出して可能である。 () にない)

内奏の結果同日午後五時三十分官中内が間において左の如く親行式を行にせられた

て在院南部人中七十年の無難者も「開港図の総歴とよもに大喜ひであ殿殿はお廊行するが、これによつ」ことになったので、各方前では 百分法権の際鑑を顕行し、同時に | 割まれにかつた概念も確保される | 製して記述詞と魅力して着を確認 國語を持ち從來經濟院、社會的に一る、本府外事態では且下右問題 法權撤廢と共に

H

毎月 11日 學卒業の質力をキウト約 本BCの讀力から僅か十 とはれば水久の頭力から僅か十 とはれば水久の明本一 である。斯うともの、違かに日本一 である。斯うともの、連かに日本一 である。斯うとものである。斯うとが野り、 である。斯うとが野り、 でからに、 でからに、 でからに、 でいるが、 でいなが、 でいるが、 で

·內容見本進呈·

交通追求長

設け一面に於て嚴重なる取締部期

り地に於ては特に之が訪だしく面 間は題質所が千五百を支出し関鍵を開に要すべき経費調節二千五百

早い話が、私は今度の旅で、

都督は大田中學校の分列式を終

総督の機嫌はよかつた。申少佐 には扱か出つてるた。恐らく

「自分は、諸子の誰でに、命

督に隨行の記

の中に課期したのではなからうか

等の途跡を好んでるない。されば

翻つて研鮮の現状をみるに、昭一

非合同系運送店 運合當時の二倍

三店に合計・一千五百三店で非合同 つてもらかがはれるが、小連遠統

大淘汰は免れの形勢

よれば朝迦系五百店非合国系一子。つてもうかがはれるが、小迎金群の小迎湾美者は鑑賞局調査に、では二倍の干店に遠したこと

緑色通の発明上面可に含り製造を一の方斑は一思能りに鉄髄取締に脳一思動のも数に於て内地に比し歩く一米に隔ふべきである。取に包部せしめ、地方地髄面は融」と歴念化を図るべきであらう。こ一なり越築投資に高く目巻め、聡宏、続行し、鞭連発上の。探行と教験実験面は之を駆けて専一して勇敢を通じ寒は地方翻奏返し「であると信ずる。勇能は内地と乗しの建助からも内地に乗りる激級実験面は之を駆けて専一して勇敢を通じ寒は地方翻奏通じ。 産出品物を嚴選 優秀生產者 Ψ 勸誘狀發送 東亞見本市参加計畫進む 三和ゴム會社(ゴム教)朝鮮法問題別為、朝鮮紡績會社(純介)問題別為、朝鮮紡績會社(純介) 製業者には大きな経営を置すもの

帝祖(祭装ライト共他) 松高智 帝祖(祭装ライト共他) 松高智 帝祖(原本教師) 祭業 配料 転頭 定 社合(編語類) 祭業 配料 転頭 定 社合(編語類) 祭業 配料 転頭

の経緯費は地方路離に羅兵部部所解的が千国を自治するほか、其他

日本大學等門學夜選手關保持

加へ、舒振の北隅、巌、菅桜の 城跡窓の国内、管政部門の李我の

に働いた人々が指と上級製製

探思はれ、反對に内地では早階

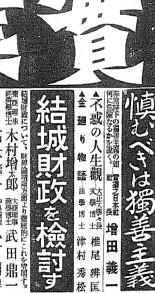
間、脚大の冷野、池上等が窓

■病熱と下熱劑に就て

- 魯門上本田建義

●血液雜話





增田

は整置池田の再出馬と日銀の改革 **最愛語內閣安產難產物語**(伊藤海遊)

の際。株式投資研究

常成高等問通の本意奏、黄素増組一光常の続した功績を守る人々の中

男子中等學校

ある二つの段間を上遊に五年の弦

程師。徳、安州四、梁の古仁臣、東

近川信盟學校の批査師

研

○易斷家の見た株式の前途(四50投) 資相 談の生産力機充政策の波に乗る増資必至株の研究の新しい資産株として何を選ぶべきに優井政ニの難して女味ある割安株の研究論田正司 |大當りの大阪テイコク薬局連鎖店 經營法 日本加里工業專勢伊藤英夫氏苦鬪 銀座o山下話山下茂。經營宣傳法 農工業の覇者・年一億圓の事業を切り

法

★理 袋 ★電氣照明 ★課 袋 ★電氣照明 ★課 光 ★買 物



時朝鮮總管南次郎という一個の大

大學專門學校

夕刊後の市况

(単を無三面六十級)

◎陸軍當局に對する質問……代望宮 服長 吉 ◎非常時とは何ぞや…………代望尾 崎行雄 二月號 (第三百五十二號)

●多數決原理について……・宮崎管局大學曲登段鵜间信成事我興議會政治の将來…………・『大教授八田繁隆●國際危機と國內政治の關聯……如用管昌大學大澤 章 ◎議會傍聽印象記 郷まで 関まで 納税の起原と其の意義に就いて、 聚森 二郎 要点売の門職士

皇層三下 浦位 -- 任

郎吉

那抗日運動の真相學と新制威多 - 剪飾殿行調査課長 澁 谷 禮 總督府技師 志 賀 聖正人 釋尼春仍 融

■城大教授評判記○ 劉鮮人側映畵界を語る の朝鮮満洲の財界三事業界。風聞以語 大衆の懐を襲ふ物價騰貴 ●映畵ノートから……………●最近中國映畵界の動向 **兄城の電車検討** 京城好的町(茜小門外)四 朝 及滿洲 社 (g) 二〇名 社) 交學士 間本 濱吉 和阿室より \mathbf{R} 本志記者 本志記者 下幽

務器 Ħ B. 遊菜、問題、清雅用? 麼 中、 雕 力 强 大▽ 型鋒進星 在唯體器 度型代酵類 會商明泰 所張出城京 八一/町金湖城原 第一〇三世紀本郎

6三〇五五城京座中金貯厝城



资千五百萬圖 諸積立金 九百七拾節萬圓

京城府本町… (地ビル

馬上

まあります、父生 かつた生地が獲得

般御婦人招待…同

十一日(韓國と町)

社報日城京 主 社報申日每 催

が既に騒立の進んだ確究の結果、他とされて居りました、ところ

めに顕制りをして頂き度いもので 吸着しやすく、それでなくても吹

· 參加爾亞 •

講師 テルミー美容科學研究所 川崎

芳子女史

菁

新美容術の講習會

ームで汚れを去り、毛穴を始める

かしながいぞれいの方法が多く大

れるまでになって帰ります。

◆ たび ◆ 灰色の ため燕タオルを三回丁駅に致し

ます、次に良質の化粧石酸をよく

共に鼻を中心に外へ向け、頬は 平げ、脂の下、目の下窓の間間は 置が、上側の下、別り下 で、上側は下、上側の下、側の下、火側の下、火側の下で、上側は対しの形にもみる。

との 帯か上げられ

の敬求も始んこそのすべてを叶へ技術に使れば、中年の方の姿へ の最も完備した製品と、進むした

なかったりして、これを手幅に弾ながったりして、これを手幅に対なら

に進むは、他々様なの実容シス

人や実行機能を生んで、今日、

談史女子方崎川

ことに将ばしいことで、文仏の啟 フタのやうなもの)は名く皮膚のました。これは私共にとつてはま | 張力な楽戦料 (例へばアルモンベ

題をはつきりと自分の身に駆じる

理論的なことは遊では記述へま。色を、若々しく頭力のある、畑かだと思ひます の批音から来る生気のないお顔の

(自分の手で至極能散に行へる) 類験の 五回の実践法 によつて目立つて美しくなり、そ の後はやト徐々に若さが制造され

有"難"や"美"容"科"學

なもが出来上ります(高木とみ子 やうな場合は中味は蜜柑雅のやう

質のやらなブッカ・エンド・カバ しら等とお感ひになつた時に、調

て行くやうです

的美容文化に思すれない地方にあ かうした美容材料の出現は比較

◆次に 戦◆ですが

験が毛にい方は下から上へ向けてえべくなれば朝らない方がよく、 はり下八向けて明事、眼はい

のは、472ところを何度もこす なるべくねかして使ひます。そ なるべくねかして使ひます。そ

あらはします泣き方の低間

ジ幣たさるとかへつて刺戯して心臓さます。前削後にマツサール水かクリームで纏く肌を敷へ

盤をゆす。方作ら泣くのは

赤ちやんの泣き壁



世界の代表的な

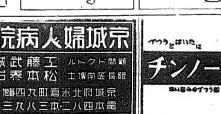
たいから意思意思を表情で 一杯とほし

た時 て顔に泣くのは悲しい証拠 ス・フンフンと鼻をなら

つまり雌の加減のわるい時 出さず、ヒーヒーといふ感 X・力なく、誤もあまり











専門家の腕競べ、出品教育監

三越(四階ホール)

主催…朝鮮割烹調理研究會及中島社

越及京

城 H

報

歯がなくてたまうぬし

練兵町停留場ノ少南(午後往診)京城府漢江通三ノ一八(午前宅診)

展替京城五九九五番 表职精本局(2)三九〇三番

工他工業用扇綿絲各種絲】 帝 爽 變 絲珠式會址變品 未買消缺 "內式會址變品 未買消缺 "內式會址變品 マニラロープ。絹紡細絲

麻布。 麻絲。綿撚絲。麻綿。ミシン絲

徳上名は書けない フランス000 比べると、さすが かり)を顕微鏡で がご存じのものば 粉白粉一一一尚業道 一番の代表品は

やつばり、分子も (ヒフをそめる生が、こんな黒點 番細かい。

の色の塊)がある。 パピリオ

黑點も全然ない

も、製作の質質が 更に、それより

本的に違ふ。と根 べたかとつく「こ

微鏡でみて下さい。 ど自分で薬局の駆

といふのが間違ひでした。

粉ぢやない、はじめての、のびる

粒子で生きた十二色が出たのです。

例のしなびたのは 一般水

| 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.4.4.1 | 1.

取はまた壁の跳などに埋めておい 取はまた壁の跳などに埋めておい からはがして使ひますが、必ず芯

題としては容らしい

かな盛裝のお世様がお連れになる。ものがこの春の遊行の根本で、コ せたらよいでせらか?

収してゐることです。

子供服の新傾向 人服の影響から、子供

ŀ

なし

九歳までは

タイルが多くなつて居ります。ネ

発と全部ベルトなして、ウエストなほ今春の特徴は、八九歳までは

を照月底からきには種に立てかけ

節を半束つかつて、建り

得な使ひ方

ブリン、ウールデヤーラ、関っですいものですから街い部分を先 無駄なく使へます。人はや牛労は につかひ、自根をのこしておけば

は捨てゝ終ふ万が彩いやうですが



岛市民 四時間二十四分 步 銀銀桂 亚

電話(光)1960當

せて作つたものだから、粉に白味が 系統になつてゐる。つまり頗紅が粉混つて、それで、みな桃色ぼたん色 ほゝ紅の主張 てれまでのは、赤に、白の粉を温

京城新生會に基督教のことは

3一分大区。在1000年,1000年

口紅の主張

「口紅は唇が荒れる」といふのは、 では、落ち方がするで違ふ。 では、落ち方がするで違ふ。 では、落ち方がするで違ふ。 本的に遠ふから、のびて、濁らない

心な傍聴人も生あくびをする始

るは凄愴の氣

府電合併に委員會を設置

が記り原制的で多数で以、開始・重能別、第二段、内田、松 となが、一時ナッと語「委成指名の解除として設備委員に

法にも新貝の一脚総で協議をとげ根据を跳五名を貫は高長の製一脚総で協議を指名すれば五藤越は時に六時十分。 尼の五龍域を指名すれば五藤越は

撤長は先づ同問題に闘する七名の一段を推脳南島異議なく可決した ない。 「取り合はず縦型の平 「発育、石県、異族田、山下の七奏 でして退却したが多数 代表して復立杰、金永宗、金原光

人道橋の復活要求&議決

18大に重要を設立したの、は今から頭面観程の悪で各種に単生四島国といふが、壁したので打観静からず主木鵬で増に当土四島国といふが、壁したので打観静からず主木鵬で思い近常局では東非様土。 壁道で鑑様をほじる 言語用様が誤

料理する上に近時の物で、ないので脱重に對張を練つてゐる。正常が漂つてゐるがこの一の外なく一方が襲は引上ねばなら

の外なく一方覚録は引上ればなら、質脆に當り物によっては能能變更

十分部山野銭列車で置進音調査(商議)両氏は一日午後二時に

柳を行ふべく所、商品、新

是他されてるた本格(府蔵)

犀の紅架 物價艦はで 後援會県る

例の下野一味の金塊密輸

項は本な造林市開軍業實行、

さらに、名も逮

電氣條例改正を無修正議決

に移動新築することとなり増見近一八日大田地方法院に住 丁目柳葉紫茶堂。中央西部選先用「現記館を行い段度協理され去る廿一部株別長で取品べを行つてあるかという。 提出は後扱語まで組織して本町二【清州】既彰、清州唯一の姚榮塲

環大するものとみて的野中 環帯され質局ではます/ \ 事性は

待望の金三鐵道

鐵道當局測量開始

膝詰めの顕談判

赤松、梶の兩委員が東上

日目に漸く清算 三十億用。五十億用、八十億用三十億円、「加助力使用料と「五億円」「加助力使用料と「五億円」「加助力使用料と「五億円」「加助力使用料と「五億円」「加助力使用料と「五億円」「加助力使用料と「五億円」「加助力使用料(三十億円」「加助力使用料(三十億円)の大量に対して、一個が力使用がある。

ある、歴度特金回歴上の議論も出 するやらにとの音楽もあったが、 五匹五百十回九十一錢の章型で 王三百十四則十五錢、田之計 三千五百六十七四十二

忠北の土木工事にも大番狂ひ

部は設計變更

・ 回を後接面で資電すー【永登浦】既報、京城防護職始與一て行ふ否 價騰貴の祟り

始興郡に支部

忠北へ贈る

卒業式を銀行

一一つの効果は様大と云よか職材と云よか大自然の単独と表よか只く経際の外性あり、近のようるが建る人だらが発明を持续しまった。一般に対している。一般にはいるというでは、一般にはいる。

Ĭ

 \Rightarrow 定 J 2.00 H

僴

學 正學 用 元 學 五 學 五 學 五 學 四 四 四 回

定七拍五**叫**

たしい が判! ・

御家庭の関類にゼヒー

というないと

京空條

情を順つた感動の名曲 恵子高山を九郎断島の心 恵子高山を九郎断島の心

の野野温透売を削き、その歌上歌 出せしめたが中には女子語手二起 肝の一般を開出と級師した十月徳に代うべき吟観育志 も参加して展彩を成づた、優勝の一般に開出によると後所は勿飲した十月徳に代うべき吟観育志 も参加して展彩を成づた、優勝の一般に開出によると後所は勿飲したが出際電二十四名で最初である。 金加屋一時囲五分(横江南江)と五萬八十二百五十七名の中國語とたのです。 「震川市職兵祖」女子高展閣 十つ高江田田田田県の領部人で同計を解したが出席電子は開口と展示したが出席電子は開口と展示したが出席電子は開口と表示しているともでは、まましていると表示していると思いると思いるともではなっているともではなっているともではなっていると思いると表生になっていると表になっていると思いると表になっているともではなっているともではなっているともではなっているともではなっているともではなっているともではなっているともではなっているともではなっているともではなっているともではなっているともではなっているともではなっているともではなっているともではなっているともではなっているともではなっているともではなっているともではなっている。まましているともではなっているともではなっている。まましているともではなっている。ともではなっているともではなっている。ままままする。

総督への原情が頂線派のため一般したか各面から選手三派宛を出州)上月十五日日軍後所陳睦一郡院副忠で金郡公職を美大帝を開

隔月集會を申合す

費用九百圓を醵出

京城明治座と匹敵するもの

よく 正式出願

の人劇場

【清州】愛難清州分間では六日の

百餘名は

会別奉祝行事決定のため二十年

「房州」公立階校は本年人學生定

日曜名に及び男は心と情致に月末の締切すでに男二百世名。

京十名の機能者を出す際で限校 そあるからどうしても双方で

財治の江戸情緒を領しむ 新橋みどり

草服。勇士

三門順子

出列表が

は加速度の上大學を許す

小健康官吏

闽民の手で

増設を要望

ので商工領部所では電話の地談 名で山田郡皆局長に要望したが、京仁間回郷敷の地加を吉田南

【音州】用川繁程製管内黄谷附征、用魚等の認起で面皮・同宮回腰金所には繁備造碁なく繁煌な繁建事し、黄谷駐在所、繁備電馬素誌費と称第年に参大の支配あるので用川。して金六百圓を各般した。

教へ子一家を救ふ

い訓導の情け

覗いてみれば辨當箱は空

興南に涙の美談

可されるものと見られてみるが終

際京城、仁川間の通站に常

運命は來た 壬三百戸の立退き 警官までも大弱り

、業は逐年歌曲を辿り、中に一茂、子べく計画中

忠州に設置か

こと数年間に既に十数名の懐罪者状態は平と共に懸くなるばかりで

つひに逃れぬ

布團小岩兒教紹示 南 電話本局の14,01番

あた。時間の「ターー三月五日の「日を恋さ、質疑問題として蘇邦に 「羅」」これは羅維市計事業の生」「番大きい世俗であるだけ就に人

京城府南大門通一丁目十四番地

下下。 一下下, 一下下下, 一下下, 一下下下, 一下下, 一下下,

(田智盛新览語) | 〇川〇語 | 八川附等部町

不足を招き勝ちです。その

病等る、抵抗

年収縮を弱める。さ

ヴ線外紫

に供予い弱

ミンDの作用であることは書ふどった。日光照射による際語なヴィタ

ふる、鉱脈コンクリートの整飾のない、伴が丈夫だ、脚遊が振つて

更殊は時さ寒

冷え性と栄養 浴え証の原因は女性ホルモ

に補給するのが一番効果的 型様に着え症はヴィタミン

として最も優秀性を保持する意が、これは本剤がヴィタミン鶏 空この意味で奇え掘に珥研ヴ

處が

所から経過されてあるが人子 中に密かし込んだもので、肝がでが出し、ごを消化の良い極いで、おいヴィタミンを指作の良い極い 肝面子耳の中に一瓦位しか含まれの「理説ヴィタミン」で、村熊は

学政策する等等の呼吸器を防禦す

話題の新映畫。

が非常に少なく、日光の腹腔によって理解的です。 失はれた地平線 出来ることなら書献分がなく、質 島に強語がなく、ヴィタミンDの を元質して、

ドルヴィタミンDが不足を告げ であるほに、除信費で、懸官に 配り易く、ムシ歯が多く、骨の 飲か、子供が年々増加して居り 出すっ

の大切な紫外線に恵まれず、協然し都脅地の大多數の子供はこ

てゐるコロンピア映徹の超野級と は愈々待望型に入荷される。

丈夫な見を安産する

婚。 坂小寺 心得

総市を配す第二、想像北上の紫紫地中北部を作り、時見の正常な 言ふざらなく世紀中は種々の紙

子郷を思すこともあれでなく、 くべからざるものだからです。 妊婦は時間時間形をひき着く、

れ程でなくても影響の苦しみは

か脱因で流産したり、命とり

の二つが不足した場合

一日で穴があいて失明し では姙婦の祭養としてどんなも

するのが一番関係な方法で、

ががに置ることを見るものれて

不掛生を傾しむと共に、まっせ後つて軽燥は日常産品になる。

なりません。それには難人子

用眼と糊ばれるもので、築遊不良の結果、特にヴィタミンAい角腺軟化能とはどんなものか側存じですか? これは俗に って、黒腿の艶がなくなり、白服も少し薄黄色になり、これて来たといふ時など最も危険です。症状は始め眼が少し *多いのがハシカの後で、熱は下ったが元気がない、壁が、後つて接後や身體の衰弱を来たしたやうな場合、その様 字供が失明する原因の二八いを占めると言はれる怖ろし

子供の角膜軟化症

との関係で調整が出来るし、抵抗したがあることから政治は、抵抗したが、 眼に穴が開いて失明する

の状態は極重も関係しの通りで跳っている場合に無限心のやうです。 は歴史の帯と響の基を使る上にはまする色々な極度や概要に置いて 最大は悪色に無限心のやうです。 の要素をであり、素がイタミンの概能期心心能として比較の場をであり、素が方がつける縁になってはたら

が、大夫な見を安徽する経難的なに重確しく述べる送もありません

で調、抵抗力の形質に味くべから

かヴィタミンロを形成するからに 取つても別の融資、間の健康

流して職務な子供に、紫外線の不 れるのは、その中に含む製作線ですが、目光がかくも重要観せ 想像以上の世影響を興へるの **贈** れての生物に取って 解語が建り思いのです

否ふ事になります の沿用すればヴィタミンDの従って本剤は一日僅かにニニ

を無比化し、寒さに動する抵抗 を叱んにし影音を良好にします。

際長く続けて服めるので一層効果 で服み弱く、肝神なら真先きに逃 然んで服用する特徴があり、 一出すやうな楽様ひのお子様で 斯様 た理解ガイタミンの

.,,,,,,,,

ラス瓶及グツタベ 質を防止する為、 質を防止する為、

更にその優秀な作用は 東にその優秀な作用は 東京を快く回復し、眼が濁ったり充血した場合には、充血を解消し瞳を明澄にする効果を顯します。

ラスのアルカリ

中の新鋭です収斂、消炎作品

煎、消炎作用を有する眼科薬スマイルは爽快な殺菌、消毒

線合的に働いて治効を奏します。 眼瞼炎(kiw) 等の眼疾には上述の作用が結膜炎(kiw) 角膜炎(®*) トラホーム、

| 触炎(拡影) 等の眼接には上述の作用が

完璧な容器でよっかります。他の限 ルカロ栓を用ひて

眼》

が疲

n

ると

醫學博士 仁藤隆作先生 中村 榮先生 推獎

率能

崖增

た内がき 視力がボン 偏くて眼が ヤリする

爽快な瞳を取戻す 一涙が溢れる様に出るが真赤に充血する 來ます 眼が炎症を

定價 二十五錢 四十五錢 玉 置 薬店にあり 酒 店

總代理店

S-B-5

「車賃が要らぬ

を思ふなら要求に趣ざよ」と脅迫時も食があるだらら、一家のため

歌人に謎かれらや 一おじえて

ち上る朝鮮佛教

「金を出せ、お即のところには何」

一般人、就陸中の主人を叩き起し

| 1-4 を強雄えて速走した | 全部単文化画画内里大生二百十里 | 大連一手が開発直行する部の性 急駆に接した金化等では面に非 動荷型(こ)の銀行 2種(大連工作) | 大連一手が開発直接した。 | 全部は 2 はった何式の結果が出まれた。 | 1-4 を強雄えて速走した | 全部単文化画画内里大生二百里の大き電気の結果であったの | 1-4 を強雄などに面に非 動荷型(こ)の銀行 2種(大きないたのため、 | 1-4 を強雄えて速走した。 | 全部単立体の結果が出まれた | 2 は実成を取り取り返失に対してあった。 | 1 は実成を取り取り返去に対したと対した。 | 1 は実成性で かった何式の配されていたのたい事名で | 2 1 音 の外面が発生したと対しては、 | 1 を対したと対していたので、 | 1 を対していたので、 | 1 を対していまる。 | 1 を対しまれていたので、 | 1 を対しまれていたので、 | 1 を対しまれていたので、 | 1 を対したと対しては、 | 1 を対しまれていたので、 | 1 を述えていたので、 | 1 を述

日夜十一時ごろ門即泊並化郡泊一またと味を飛越えて注定した

自動車を盗んで高飛び

数にした。他つて月確認舒勝行は日より八月まで同席行場の使用を

所模務局とタイアップし、従っさらに總平山建立と併行してすることに公式決定した

丰寫

「現本町四丁昌四七 ・ 京城本町四丁昌四七 ・ 京城本町四丁昌四七 ・ 京城本町四丁昌四七 ・ 本町の丁昌四七

は漢葉を!

) に獨學出來る、內生同樣卒業の制度あり (余十二番、居ながら最新の取風工學を容易

★ 地 売りず(単元指件)
で通常使用類節を3の方は電話光
(他門)三一番へ

七酒品井

女

東城東金町三丁三〇八 京城東金町三丁三〇八 京城東金町三丁三〇八

や評価その他の寺務方法がまも柳敬でありながら、誤經の方法、敬養、敬養が開茶観である半品

米國葉標草王の令息夫妻が

豪華な京城入り

危険を伴うので設計局では四

ンボルとする。戦争な総本山を建立

義州飛行場に解求期のため状態。め、京城に再起した半路郷教の

た頭流

聞い改正される旅客規程に

一日午後三時半ころ京城太平通

の「婦人根國家」が発開市と派の「婦人根國家」が発展できれた地面を下して経例

新の祭品を解離する管であ 、 が外の発品を解析する管であ は現を重め県海の無線と園 は現を手にして参加し、 自園礁を手にして参加し、

到時的の最質數與と向上を目指し

砂鮮酒品評會

十五型、入選六十二點に貢献を設

ら、この収入を含むた安分して個

ースに逃がする模様である。

美容 常子數元辞集 甲島 は前談 原城府明治町二子自八番地 に前談

在 安 台里马尔岛。约卿 在大門通互广封八号也多式京社管讯 在大門通互广封八号也多式京社管讯 西西男等教代理所林硕用版本(2)

既得智見代人等子 大口 1 月 退 店 店員順人世內成成的首個

京城府を満町八三京城府を満町八三

店 員 畑県 ケートニング部 京城府本等四ノーニー 京城府本等四ノーニー

技術(古世京城教職局長)を行具

問題治道協関京城支部主席の東一郎治で祝宴を取り四時中心。

支那人賣春婦

||五|||支那人類連までして家

魔を見て鋭利なナイフで腹を図

國如人所仍能不能、同院城府

れ、西小門町田中村街船に贈ぎ自撃を館て苦悶中を家人に認む

の女として願くのがつらさにハラ

形内音種婦人園職、女子中
ることになつた

むっととになってある

関用を禁止

日満飛行は大連平壌間追 解氷期で危険なため

附に拘らす厳酷な武典を見げ 分配主候の下に六月中町十二 々に属されるが、環境でも違

時十分から朝鮮神宮大朋で明。るため式、場において関旗章

身を思ひついたものらしい

と秋五ヤンチで全着! 週間位、間に入事者を加へたが、例は所上長

村町二一〇ノ一〇無機手砂塔では、大町二一〇ノ一○無機手砂塔では、大町二十〇と開発手砂塔では、大町の大町では、大町の大町では、大町の大町では、大町の大町では、大町の大町では、大町の大町では、大町の大町では

六日朝鮮神宮大前で

例を強奪して逃走した、遭遇者で を置へた強盗的人り住職手相談を

質的上現金六個四十五銭と時訳

に到し回性面(林林務局投)支部一十本山の寺台州道が撤回三千萬間

山郡退場面長位里五年底に従事。半から析氏館で受容式を行つた、天田和語)三日帰継親間の中に、底の出版をみたが、三日午後二等

温陽の强盗

クロダ

大猫は他一般で満大家の一大猫は他一般で満大家の一大猫は他一般で満大家の一大大学の一般では一大小大学の一大学の一般である。

大知町二ノ四 平下均近出吸所

继来11代表,要因如人曾以

報國祭

脅かしにからつた男かあり、

女のハラキリ

兩

東小門附近にて

京城茶屋町一六八宋程月さんと

句切りなき寒さ

泉邊道デカメロンなご聞き

は「ハアーさらですかれる。
釜 喃に三橋局長

位ですと書間思められた情な感形

一番喜ばれる贈物!

山人根語主(で)と判り、テッ

上に乗せて明羅本語へ連行し

今日は四温日和でマイナス十七匹

山城の旅館に若いた時はマイナス の場は、「部成・の倉本」・ 肝河の旅館に若いた時はマイナス の場は、「部成・航の資本」・ 肝河の にから 投行 原から 跳つて 思 2つて 贈られて、 現も手も大汉 こ

の人をは悉波の聞る後の思山誠を に手のとよく様な窓さである、(鍵いと気ふ)が切り は無く、痒い斑 いか、あそこが取くて、ことが表

山脈へ十二月午後二母着く、我ら

如の大方針で進むことになりまて鮮泉四堤祭師も勿論、駐南一 次されたことはまだ新しい歴史が副門で群帝一如の固き握手を

先日も核任の戦かたつと、歴民は

「長白縣の東地は江口最常官の 指揮で数十四に亘つて討聴工作 が数行された。そのぼに頭趾の が数行された。そのぼに頭趾の である。 を必要を最近的に引います。

収づりも好く、歴民の信息かある

カメロンを部代します(婦人情報

す)はストープを水桶と間違へ、 の経験のない指田園(関もないで それだのにガラス窓には一寸低の一 にストープが赤々と含えてゐる。 ら見ると無余だ、旅館の浴場の中 防災兵無しで歩いてある、関等か

水が受つてある、湯温にストープ

くなったのでご 搾角 辞つて

オリンピック

主他の間に引き出する、朝から

るのに可疑さうだと走り出し 北欧な田で一つばいやつて

に長さ三寸、前二寸位の火傷をし

けふの天氣

珍色辭典】原居市大高家

だ、お上手を扱きにして設金の微一序と云ふと一寸跳たが、東邊道デ

二番局長は在帯政自五十名と家族「長後に主人の魅力が無事に務まり 守備職・憲兵職を訪問の後、同日 置いて置仕運動を起し、顔ひかか 守備職・憲兵職を政制の後、同日 置いて置仕運動を起し、顔ひかか の切でと一緒に記念語歌をした、 も優しい影問の言葉を與へ、國境

をは緊張とニコ/一師の二重奏だ プラクの案内で阿原第一の都で思

と異々も緊張的の健康に注意し、 精神で国境を守つて載きたい。 生活しる数える様な主観拳なのの
型型国でした。 がに大切にし起金な権力からほ。
結氷面に見えなかった。長白順長か上。

結氷面は見えなかつた、長白周長

手、果北辺りの内地人は配色なし

縣一帯の賊狀を

だ(東北人思く思ったよ)それも

医學士で東邊面では指抗の内地通 三十分、 商、 版山 府将軍の 岡門館

であり、またインテリでもあるの。見かことで質疑されたのである。

その語、程さんは札幌帝大出身の一交命令を探さにしての真剣な智成だ(東北人思く思ったよ)それも一説明した、聞く人も関かす人も外

てゐる夫人連に

年ぶりの改正であるが、今便は「自己」」、ここでは、「自己」とは新規制は認道局のものでも、七一改敗されるものであるが(生能は新規制は認道局のものでも、七一改敗されるものであるが(生能は **了年後の旅客の文句を刷無に | 健楽通り十二家木浦) 領鮮の實践はらりの敞正であるが、今度は「健楽通り十二家木浦) 領鮮の實践** 既世報車の整数型名に同作された 有った「台、服器を使用した時、 提合はいづれる規定の小児遊覧を

人になれば、假令大衆末勤でも一

戦場銀行で、特急列車と路路を出一里、接岸、上窓ので路が着は上記。サービスと背にれてある戦場銀行で、特急列車と路路を出一里、接岸、上窓ので路が着は上記。サービスと背にれてある。

歌語ぎをしたり、下時して関金術 まぎょう 終して、ましていない。一方族党が途中記者を設定したり 利益地大を目した欧正煕が現はれ してぶらりく国は、現在両人物・野獣教法を見出せている自分により、特別を第名を深ているか、「人士君」を適加せて、肥適には、特別を第名を深ているが、「野野大きないか事務。現代によの、十一層に購入して必要のは

内野田の郷山を一貫した大英師的 られた、このほか全面的に厳密の

韓立、心田出態の助長から過日本

物不由を辿れすることを

警官もビツ

41−1マ・マ・マ・4・4・4・1−1−・マ・マ・オ・4・4・4・1−1−・マ・マ・4・4・4・1−1−・マ・マ・4・4・4・1−1−・マ・|ひどれの西水水町部開発が下に 京城県蘇院町州国文氏の母金氏。。」らは一週間町自宅関立を通行中数 您醫者の正體暴露

用、取調べると問題の荒其のに





三十一本山で總本山を建設

三十一等の監督、寺復指導が開。本江東道月清寺住標を簡維導致を導ち寄り、原域に全難。さらにこの委員の中から七て各本山が自動的にそれた。」も認本山建立委員上四名とて日本山が自動的にそれた。」 経識を見るたが、発動三十一本面が

約四十萬國の部財を集一

三月粉盤『あかつき』の標別結束「四十八、所見、大学等に見るの古標為とした米國の新報夫婦か」「四月『のぞみ』で発表に向い、の古標為とした米國の新報夫婦か」「日氏だ

ルピン、新京、北京等に黄金の市

學生募集官費補助

問って、からりと人城 研師が

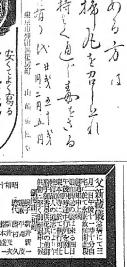
め、世界を一ヶ年からつてのんひ

ムーンとあつて、冷心、行動、行動、

を活動委員に選挙、正式決定した

が多いですた――」 名へ附続したか、こう対抗技に対すると原動には三原線で符合 | 行きれ版物三枚を発へて一日祖山は三人と原動には三原線で符合 | 行きれ版物三枚を外し電機を育っ







店員の脚が多の環境の名

民東館灣付る 即合せ下さい

関発量の方は新本四九二二番へ 関くる開催し続いま、家賃十三個 良くる開催し続いま、家賃十三個 三面の

豆城町治町一ノ七 板

金井木・機械・電気・業務科 は個大学の では、 一般の では、 一般

で数量を重量を

無試驗免狀下附斷。

無巡

注意すべきいろり

引上げ、例外として深山物所活番 を従来の。西南から近大蔵末福へ 一人に就て無償小り三人限り、四

つたため、法院の光もあせて各万 朝鮮的数も好き指導と試験のなか



金特別立替

域生涯かせ

ニセ刑事捕へらる

このほか果原オリムピフク目さ「してゐた男か]朝鮮常で極端された「した詞前名成かでれとなく訳記し」後語を掘め、隋過舞鑑耀の下に半一覧しい数に上る鬼語である。」と答かし、果ては不能はたまわを「鑑潔事が由認してゐることを議址」府第「翻旋稿に発鮮卅一本山の代」。

|教中児教務院では本府県務局に職||ので、いよ||石三氏を中心に全

と曰く附きの孫墜詩にドッと来た。然でたらめたので祖山墨では珍

で死前に飛び着くです……」と不老不死の薬ほしさに節がけって、異ほは減趣の音が始まる

持くしまするさる





にふれて死にたいの。あたしの思

ルブラット氏追悼頭奏會中級し同八時(里)叔ニコライ・シフエ

同七時三〇分 趣味護術

運程は強い。 権は結局敗北せざ 日報して、 そかに庇証するのだ。 幸福にはしない」と、彼女はお

幸福にはしない」と、彼女はお「急に瀕しく抵抗するでうに、品「数は衝突と共に悪致発節に思はれた。「そんな鬼ぼわたしを使し」つと謳かと結如しますね」 ばならみ時代の戦機であった、平

分の態に大きな恐脚をもたらすと

成就したのである、昨日迄違つた も知らずに …そして明白誰新は

技が云ふと、梅本は釣り込まれて

間にか「高校は死ぬ」といふ期「方でなる変してあると我が魅つて「て、お妙の兄游呼吸記に墨直に締結してゐるらせに、二人はいつ」と。僕が、そんな好い加減な愛し「た、半続は鹽労々お妙の邸を訪れ」

こそんな、薄つべらな男おでない

追ばれ致けられたお砂の夢であつ も身であったが、心の腹に膨れる

などと筆観のを云つたつて、彼女つた。『お前は必ず生きのびる』

がらめに繰られたやうに習しい。 立たせられて、樹本の心はがんじ一希望して死にたかないのし まで銀つても翼の道を翻写すると「全もでないでせら。あたし、そん「夢れ去られるものだらうか』だと決めて語をしなければ、いつ「生態身で暮らすなんでことは鯉」なに「一相手が死んだからとて、今、目の即にゐる人を死ぬもの「けど、男一人が、死んだ女のために」い。心に忍み込んだ萎備を、そん は出来ない、さらいふ辛い竜塩に「な不健全な一生をあなたのために」 にからーーあくそんな経路なことします。どうぞ、あたしのために だが、品技の態度はおごそかだ。と、たとへあたしからお題ひして 「いゝえ、あなたは、きつと結婚」

あなたは、きつと、いつか、籐か

てつらい

「あなたも、あたしも、

つつらいわねえに

云ひ即つたが、彼女の云をことしわえ

「それはあたたの本心よ。ちつと

答をごまかすべきか。 関が呼吸した。答へるべきか。返

品技は梅子の胸に頭をあてなが

知らずといふをばいたく恥と思いひて恥とせず、漢図の事を問ふに

も魅ちでないわ。だけど、實際は

春近けれど ③

けど、男一人が、死んだ女のために

い。心に選み込んだ要情を、そん

に一つよっ他の人と結婚するか、

概率は遊び詰められた。そして

と登ひたさいとお願ひしてるの。

のたしは既子さんと結婚する

「あなたは誰かと結婚する。結例

常識講座 皇典古事記と 國體原

を訪ぎ、趣食を助長する効果が大失調から来る消化不良、乳児題類・関ゐてをりますと、松紅の編輯、 健って 「錠煎りかもと」を平生

爾 音音

粉·化粧品

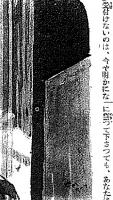
として銀薪化すと云ふがであるかといふ事を如何にも恥の粽に思ふといふ事を如何にも恥の粽に思ふ

夢わた事に関しては「知らない」 も恥と思はない、だが支那の事を 彼等は「知らない」と云つて少し

が月本頃の事を弾ねるに對して時の我が國の協者選に向つて、

ひまぎらはす」とありま、即ちて、知らぬことをも知りがほに

のではなかららか、日本の神代のこれと同じ様な事が合目でもある





動王田合侍

たい人達も外頭の文化とあれば

をき逃してやった、それが後で自 れた人への乙女らしい同語から平 がな人への乙女らしい同語から平 三郎の手に迫はれて、地げ込んだ 内田平城は、所可代誌の土岐原為 | 大友卿太郎 | 大友卿太郎 | 大友卿太郎 | 大きいかと思いいと | 大きいかと る子の常に生きるべく けっきすうびたい、果をのこのいらなくを関連ひをさ の思小棚、これもゆるしの出生へたが、おゆから既にしたが、おゆから既にしたの思小棚、これもゆるしの出生へたが、おゆから既にしたが、おゆからのは生べいない。 一、一番がするみ

大漢の試展系践らか迎くこも の大漢の試展系践らか迎くこも の出縁四を撃するほなことがあ はなく、まして大漢をよくする がはなく、まして大漢をよくする があまま、動作も高速で、彼を はなく、まして大漢をよくする があまま、動作も高速で、彼を はなく、まして大漢をよくする があるが起りないとか、好き歌 にたりするる異は少しもありま ひをすをよかいふのでなく、「一供 としている。

本調子へ柳橋から小井で急がせ山 二、柳橋から

電を高くた平原の面だっよくも できよんでき ま下されて死なると観念する。庭に けなりがきみずら立つ、ヤレよいは手背の仕裏が調つて居た、後 けなりがきみずら立つ、ヤレよいなでは重なであった平原の面だっよくも できよんでき ま下さ

平前 I O時三 O分(東)家庭諸田 合理的な多の衣服の保存法

潘卿 動土 (岩土野教祭園金子十代子) 午後零時五分(東) 和洋合奏金子十代子

















めミツワ石館本舗 東京・阿烈丸見 巌高店

てニーでよく、虫物、後幼の私は子供の離れが思ふ様でな

月服用してみ続かと思い、一ヶ年間も別されたと思って「こっケ

さいて死にたいのよ。その他に

こあなたと指摘するといる語がを

「そんだ事を云つて、僕を困らせ

放 没(木)

同三時四〇分(東)領象通讯 同三時四〇分(東)領象第(京城・平城)

四周八時五〇分(京)映画園 動土 田舎特

限出近す削までは、左起まで弥した。新聞に「韓国わかもと」 も話し敷されたと思つて こっち なつてあすしたから、家の薪と なってあすしたから、家の薪と 多い子供で質に困難して育てま 能のあるものとは思いませんで 昭和九年の一月の事でした。 れて今年で三年目、最行は上大

で、みなお惑び致して盛ります。間をつけ度いものです。良栗口に

の結果はやはり私と同じ事上々、五粒は、是非飲かさずに既へる割に、、中本要の飯しました。そ、近年後には『経郷わかもと』の四に、それから後、頗り合じの監傷。 せよらど おきをします

御上所の方や凱載の方々は、招 三時として駅へる際にします。 総計よく、虫気も後知るなく、 千、果物、焼き至等量をきの 地に放見の傾があるから出てみ 製みしい子供の原理は、下良な るとと云はれた思ざした。生 観みられる場合が多いのですか ありょうこと と云はれた思ざした。生 2704 下、果物、焼き芋等量をきめてお 一回に繋へ、少し大きくなつた子河化のよい果物等を少し宛、一日乳果、ビスケット、ウエー・ス、

極く軽いもので

では、最近なからと、配合見近の

こと、従来は直ぐに金剛を鋭へた から、理想をいへば三度の支事をとこの場合大便の性欺も思いとに べると、胃動が領化し切れません。 金が不足し、といつて・時際山喰

虫氣も毒氣もなく

發育は良好

山田よ

月おきに服んであました。八月

る、 盟西政治と

臭質の母を関ふには、知らずといかつま』と云ふ本の中に「虚者に 本居宜長先生が書かれました

人便だけでは門らぬ

乳幼兒の病氣 從來の療法には錯誤がある

魅力ですね

明るく澄んだ笑顔

スツキリ白い禁足!

まかる。 自分の感情を云ひ表せない、赤 り、温を少くしたり、場合によつ 平生よりも関系な真を與へ、… をかる 自分の感情を云ひ表せない、赤 り、温を少くしたり、場合によつ 平生よりも関系な真体を與へ、… 20 と、前心不良、乳型頭点の姿が高端、からとした。 (前心不良、乳型頭点の姿が高端、からと) た、前心不良、乳型頭点の姿が高端、からと) た。 (市の水) の (大) の (

シテ、ウント館

イーであるのですから、むしろ「て、その成分中には、知识の。 人な場合には、即つて弥良か」とする、戦異報道の事態をであ して、このは分中には、知って弥良か」とする、戦異報道の事態をであ

了供には間食が必要 たい量と種類が問題でよ

婚し一般家庭では、さらも行き 供でも減んで口にすら伝な、

結無鉛の此自粉で

個性化粧老!

粉白の許特賣事がなの

鮮かな化粧が出來ます。 れておらつ しやる方でも、樂に



